



## 卓也さんのミニトマト



8年ほど前に石橋家の3代目となってから、大黒柱として毎日、朝から晩まで頑張っています。



真夏の光を浴びて育ったミニトマトはピカピカに光って、元気満点です。

※ミニトマトは日照りや曇天が続くと収量が落ちてしまいます。安定した天気が続くことを願うばかりです。

### ★真夏のハウスの中で朝から晩まで

あゆみさんに続いてミニトマトのバトンを受け取るのが卓也さんです。

昨年のミニトマトは、8月頭までの猛暑で卓也さんが「花が爆発しちゃったよ」と言うほど、一気に花が咲いて株が疲れてしまいました。また高温障害で実が割れ、さらに長雨や曇天が続いて実が熟さず「おてんと様のことだから、こればかりはしょうが無いね」と言うほど、どうすることも出来ない状況でした。

今年も暑い日が3日ぐらい続いた時はところどころの花が爆発してしまっていますが、昨年ほどひどい状態ではなく、全体としては例年通りの生育状況です。

畑にはお父さんが30年以上に渡って作ってきた堆肥を入れ、有機配合肥料で土を整え、生育にあわせて灌水をすることで、夏真っ盛りの時期でもミニトマトを元気に育てています。その数は約2,000本！5月半ばに種を蒔き、6月半ばに植えてから日々手入れをしてきました。毎朝6時頃から芽欠きをし、枝を誘引し、実を収穫していますが「何が大変かって？それはやっぱり暑さだよ」と言います。仕事が多い時は午前いっぱいハウスの中において、午後は2時半からまたハウスの中で仕事をするほどで、本当に暑くて大変だそうです。

さらに、9月になると今度はミニトマトを食害する虫が発生してきます。「虫が出てくるのは仕方が無いよね。出てきたら手で捕るよ」毎日、朝から晩まで家族で力を合わせて手間と時間をかけて育てている卓也さんのミニトマト、これから旬に突入です。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

### 【産地情報】

◎ニンニクはL玉1ヶからM玉2ヶへ規格が変更となります。

◎新ごぼうは9月3日(土)から、新さつま芋は9月17日(土)から出荷開始予定です。